


## 博物館活用カード

活用学年及び時代	小学校 6年 中学校	弥生時代
活用コーナー及び資料名	川越のあけぼの（文化交流と生活） 北関東系土器、比企系土器、南関東系土器	
資料についての解説	北関東系土器...櫛状器具による文様が特徴 比企系土器...上半部に縄文のあるのが特徴 南関東系土器...幾何学模様の帯が特徴	
学習内容	弥生時代の人々の暮らし（住） ・地域に特有の文化があり、川越では異なる形態の土器が見つかること、文化の交流があったと考えられること。	
<p>〔博物館での学習〕</p> <p>三つの土器をスケッチしましょう。</p> <p>絵〔弥生時代後期の主要遺跡〕を描いてみて、気付いたことを書き出してみましょう。</p> <p>土器の出土の分布を示したパネルを見て、考えたことを書き出しましょう。</p>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南関東系、北関東系、比企系土器の特徴を見つけることができる。（観察）</li> <li>・土器の分布図から、どんな所で発見されるか、地域には特有の文化があったこと、文化の交流が見られることなどを考えることができる。（思考・判断）</li> </ul>	
活用のための留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートとともに教師の助言等が必要。あるいは、手がかりを得るためのヒントカードを個々に応じて配布するなど。</li> </ul>	